

広報

はちおうじの教育

4.15

2018(平成30年)
No.94

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

夢と希望あふれる春



夢と希望があふれる春。平成30年度は、次の100年を担う子どもたちが未来へはばたいていけるように、さまざまな取り組みを実施していきます。

八王子市の電話相談

保護者の皆さん

総合教育相談室 ☎664・6949

小・中学生の皆さん

こども電話相談 ☎664・3665

子どものいじめに関すること

子どものいじめ相談電話 ☎620・7499

受付時間 月～金曜日(祝・休日を除く)午前8時30分～午後5時

24時間東京都いじめ相談ホットライン

☎ 0120・53・8288

24時間子供SOSダイヤル

☎ 0120・0・78310

なやみ言おう

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由美さんの「守ってあげたい」を午後2時に防災行政無線で放送しています。

読書活動は、子どもから大人まで生涯にわたって読書に親しみ、豊かな人間性を育むうえでとても重要なものなのです。市では「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる「読書のまち八王子」の実現に向け、読書環境の整備を進めています。

4月からは、市民の皆さんが身近でより便利に図書館のサービスを活用できるよう、さまざまな新しいサービスを開始。利用方法など、詳しくは中央図書館（☎664・4321、☎662・2789）へ。



休日に家族で読書を楽しんで



「利用者証明用電子証明書」が搭載されたマイナンバーカードを図書館利用者カードとして貸出などに利用できます。
※利用には、事前に各図書館で利用者登録とマイナンバー利用登録の手続きが必要です。



市役所本庁舎1階と長房ふれあい館に図書返却ボックスを設置しました。開庁・開館時間内であれば、借りた図書を返却できます。
※雑誌やCD・DVDなどの視聴覚資料、他市の図書館から取り寄せた本は返却できません。

マイナンバーカードによる貸出



パソコンやスマートフォンなどで閲覧できる「電子書籍サービス」を開始。インターネットにつながる環境があれば、いつでも、どこでも読書を楽しむことができます。
※利用には、各図書館の窓口で利用者登録が必要です。

図書返却ボックスを設置



図書館のホームページをリニューアルしました。過去に借りた本のタイトルを確認できる読書記録機能を搭載。資料検索では、本の表紙が表示され、より探しやすくなりました。
図書館ホームページ（トップページ）はこちらからご利用を
<https://www.library.city.hachioji.tokyo.jp>



より読書に親しめる環境を

便利で身近な図書館に

電子書籍サービスを開始

ホームページをリニューアル

はちおうじの教育 次の100年に向けて

市では八王子の未来を担う子どもたちの郷土愛や健康的なからだ、豊かな人間性を育むため、次の100年に向けてさまざまな施策を推進していきます。今号では、平成30年度に実施する教育委員会の主な取り組みを紹介し、問い合わせは学校教育政策課（☎620・7403、☎627・8811）へ。



手づくりの温かい給食を

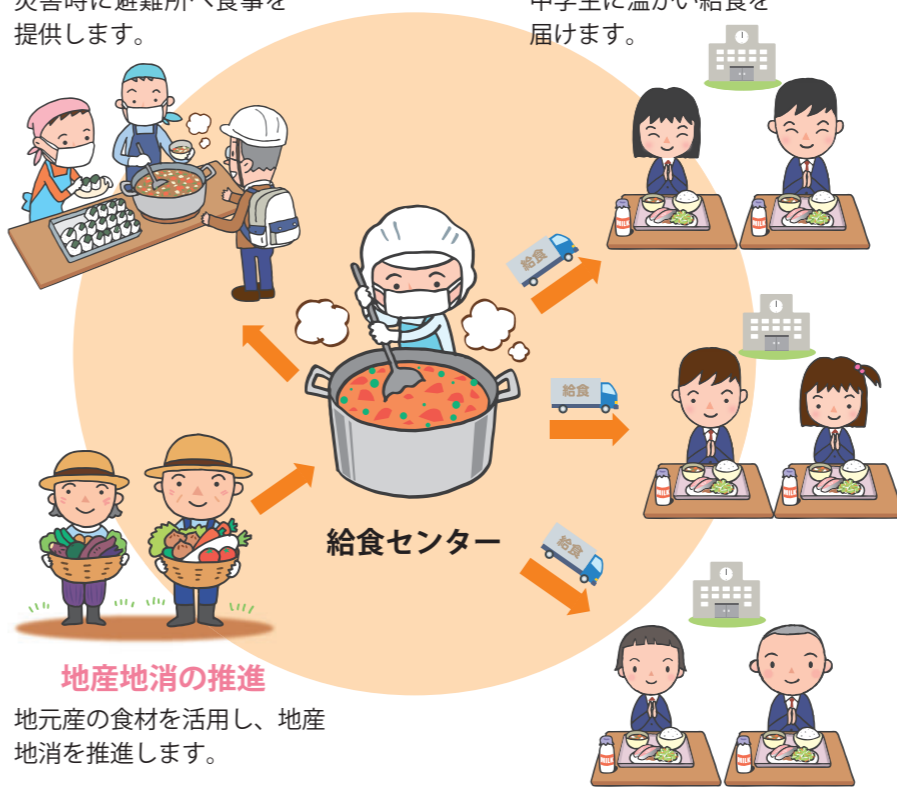
地域をつなぐ「食」の拠点

災害時の支援

災害時に避難所へ食事を提供します。

温かい給食の提供

中学生に温かい給食を届けます。



地産地消の推進

地元産の食材を活用し、地産地消を推進します。

給食センターを整備

中学生に温かい給食を

「食」は子どもたちの命を育むものであり、「知」「徳」「体」の基礎となるもの。市では、育ちざかりの中学生に素材からの手づくりで栄養バランスの整った温かい給食を届けるため、新たに給食センターを整備します。徹底した衛生管理のもと作られた給食を保温性の高い容器に入れ、各学校に配送。食物アレルギーへも対応し、安全な給食を提供します。

地域をつなぐ「食」の拠点に

給食センターでは、子どもたちの郷土愛を育むために地元産の食材から新鮮な野菜を調達し、地産地消を推進。手づくりの給食を「生きた教材」として活用し、子どもたちの健康的な食生活につながる食育に取り組みます。また、炊き出し機能も備え、災害時に避難所へ食事を提供します。食育や防災施設として地域をつなぐ「食」の拠点をめざします。



放課後にみんなで楽しく遊んで

放課後子ども教室の充実
 小学校の施設を活用し、学校運営協議会や保護者、地域の方など、さまざまな人たちの協力を得て運営している「放課後子ども教室」。子どもたちが放課後や土曜日、夏休みなどに同じ学校の子どもたちとさまざまな遊びや体験学習を行える安全・安心な居場所です。
 平成30年度は、実施校を高尾山学園を除く全小学校に拡大。週に5日実施する学校も21校から35校に増やしていきます。引き続き、楽しく安全な子どもたちの居場所を提供していきます。



国指定史跡の八王子城跡の冠木門（かぶきもん）と虎口（こぐち）

歴史・文化を次世代へ
歴史文化基本構想の策定
 市では、平成30年度から31年度にかけて「歴史文化基本構想」を策定します。これは、地域に存在する文化財をさまざまな視点から幅広く捉えて、その価値を総合的に把握し、保存・活用するための構想です。
 策定にあたっては、市民の皆さんの意見を取り入れながら、地域に根づく本市固有の歴史や文化財を再認識し、その価値を次の世代へ継承していきます。また、文化財を中心とした地域の魅力の増進や活性化につなげていきます。

PICK UP!



「スポーツ推進フォーラム」で中学生が提言



元プロ野球選手の指導でスポーツの魅力を知って

中学生が創る八王子の未来

市制100周年を記念して実施した「ビジョンフォーラム」。平成29年8月に行われた「スポーツ推進フォーラム」で、パネリストとして参加した中学生が「スポーツの魅力を多くの市民に広めることで、八王子はもっと魅力あふれるまちに変わる。もっとプロスポーツ選手を招いた講演会や体験会の開催を」と提言しました。

この提言をもとに、30年度はオリンピックやプロスポーツ選手によるスポーツ体験イベントを実施します。

また、中学生が自分たちの生活を取り巻く環境や課題について話し合う「中学生サミット」では、よりよい学校、よりよい八王子にしていきたいため、自分たちの意見を市長へ提言していきます。次の100年に向けて、中学生が八王子の未来を創っていきます。

楽しく安全な場所に

学校を取り巻く環境が複雑化・多様化するなか、教員に求められる役割は拡大しています。教員の事務の負担を軽減するため、学校における働き方改革が必要となっています。
 平成30年度から教員に代わり、学習プリントの印刷や授業準備などを行う「スクール・サポート・スタッフ」を新たに配置します。教員の事務の負担を軽減することで、教員が教材研究などに取り組む時間を確保。指導力を向上させ、より質の高い授業をめざします。
 また、子ども一人ひとりに向合う時間も充実していきます。

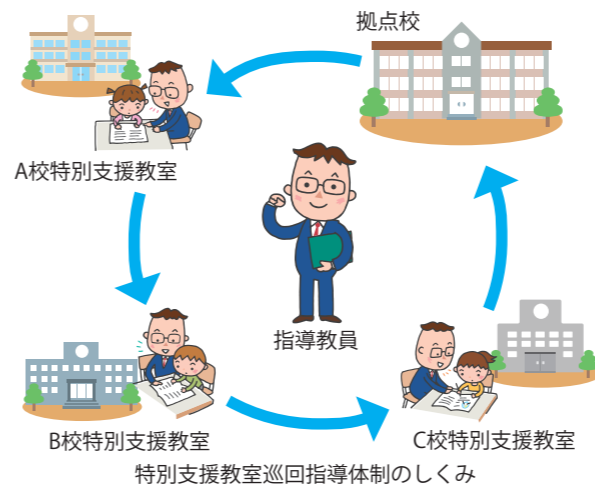


子どもたちと向き合う時間を充実させて



部活動でより充実した学校生活に

より充実した部活動に
 中学校での部活動はスポーツや文化などに親しみ、学習意欲の向上や責任感・連帯感を育むために重要な活動です。しかしながら、経験のない部活動を指導する顧問の教員もいます。市では「部活動外部指導員」を配置して顧問の教員を補助しながら専門的な技術指導などを行ってきました。
 平成30年度からは生徒への技術指導だけでなく、大会への引率も行う「部活動指導員」を新たに4校に配置します。適切な指導で、より充実した部活動を実現していきます。



つながりのある9年間を
 特別支援教室を全小学校で
 9年間を一体型の施設で
 市では、小学校と中学校の義務教育9年間を見通した小中一貫教育を進めてきました。現在、第六小学校と第三中学校（いずみの森小学校）を一体型施設に改築しており、2020年4月には小・中学校9年間の学びを1つにした市内初の「義務教育学校」として開校します。
 義務教育学校では、小・中学校の教職員が1つの組織となり、9年間にわたり子どもたちに指導・支援を行い一貫した教育活動を実施します。また、地域コミュニティスペースや保育所なども併設。地域の活性化につながる学校をめざしていきます。

平成28年度より順次開始してきた「特別支援教室巡回指導体制」を、平成30年度から全小学校で実施します。特別支援教育を専門とする指導教員が各学校を訪問し、学級担当と連携しながら特別な教育的支援を必要とする児童を指導します。これにより、子どもたちは移動の負担が減り、在籍する学校で課題や特性に応じた指導を受けることができるようになります。
 今後は義務教育9年間の連続した切れ目のない支援が受けられるよう、中学校へも「特別支援教室」の設置を進めていきます。



地域の拠点となる学校をめざして（イメージ図）



児童生徒・一般表彰式典で

ボランティア表彰受賞者
第七小学校 学校安全ボランティア

おおの よしひさ さとう すずむ
大野義久さん・佐藤将さん

第七小学校の学校安全ボランティアとして長年活動している大野義久さんと佐藤将さんは、毎朝「おはよう」「いってらっしゃい」などと声をかけながら、子どもたちの通学時の安全を見守っています。「雨や雪の日でも、毎朝子どもたちを見守り続けて十数年。いつも子どもたちの笑顔から元気もらっています」と話します。

教育委員会では、教育やスポーツ、文化の振興発展に貢献し、その功績が顕著な方や模範となる優秀な成績を収めた方を表彰しています。

3月に市役所で開催した表彰式典では、武道や将棋の全国大会で優勝・入賞するなど、さまざまな分野で活躍した子どもたちや、義務教育9年間を一度も遅刻や早退をせずに全日程を出席した生徒を表彰。また、通学路での見守りや美化活動など、教育活動を支えているボランティアの皆さんの功労を称えました。

問い合わせは教育総務課（☎620・7323、☎627・8811）へ。

教育委員会表彰



毎朝の見守りで安全・安心な通学路に



大野義久さん（左）と佐藤将さん（右）

滝山城と八王子城

「城」というと、皆さんはどのような姿を思い浮かべるでしょうか。大きな堀や高い石垣、荘厳な天守閣を構える姿をイメージする方が多いかもしれません。今回は、市内にいくつかある城のうち、戦国期の代表的な2つの城郭をご紹介します。

滝山城は、現在の高月町・加住町・丹木町にまたがる戦国期の平山城です。もとは大石氏の居城で、大永元年（1521年）に大石定重により築かれたといわれています。のちに北条氏の三代目当主・氏康の三男である氏照が大石氏の養子に入り、ここを居城とします。滝山城は自然の地形を巧みに利用した天然の要害で、氏照の時代に改修された巨大な堀とたくさんの曲輪群から構成されているのが特徴です。

一方、八王子城は豊臣秀吉の天下統一の気運が高まるなかで築城された、戦国末期の山城です。標高約460mの深沢山に築かれ、現在の元八王子町・下恩方町・西寺方町にまたがり、その規模は約159haに及びます。城下町にあたる「根小屋地区」や氏照の館などがあった「居館地区」、戦いの際に拠点となる「要害地区」などに分けられ、その構造と規模は滝山城とは異なった特徴があります。関東屈指の名城と称されるこの2つの城は、現在においても戦国期の遺構を良好に残す貴重な史跡です。

八王子城は平成18年に「日本100名城」に、滝山城は平成29年に「続日本100名城」に認定されました。これにより、本市は都内で唯一2つの「100名城」を保有する自治体となりました。

問い合わせ 文化財課（☎620・7265、☎626・8554）

知っておきたい八王子の歴史

家庭教育はすべての教育の出発点

八王子市の家庭教育8か条

家庭は子どもたちが安心して過ごせる場所であり、健やかな成長の基盤です。家庭教育はすべての教育の出発点。家庭教育のポイントをまとめた八王子市の家庭教育8か条を参考にして家族で実践してみましょう。問い合わせは生涯学習政策課（☎620・7333、☎626・8554）へ。

よくない言動をきちんと叱ろう

子どものよくない言動には必ず理由があります。叱る前に子どもから理由を聞いてみましょう。

きちんとあいさつしよう

まずは大人から「おはよう」「ありがとう」と声かけしましょう。

何でも与えずにがまんを教えよう

スマートフォンの利用ルールやテレビを観る時間について、家族で話してみましょう。

命の大切さを伝えよう

子どもたちはかけがえない地域の宝物です。

早寝・早起き朝ごはんからはじめよう

元気に一日を過ごすために、決まった時間に寝起きし、朝ごはんを食べましょう。

家庭での役割を与えよう

家事をする時間を家族と一緒に楽しみましょう。

親子の会話を大切にしよう

その日にあったことを話して、家族で過ごす時間をつくりましょう。

よいところを見つけてほめよう

子どもはほめられると自信につながります。小さなよいところもほめてみましょう。

はちおうじっ子家庭学習のポイント

基礎的な学力の定着のためには、自ら学ぶ習慣を身に付けることが重要です。お子さんと一緒に家庭学習に取り組みましょう。また、お子さんに「がんばったね」や「よくできたね」と声をかけてあげましょう。問い合わせは指導課（☎620・7405、☎627・8811）へ。

- 👉 家で勉強する時間を決めよう
- 👉 最初にまず宿題をしよう
- 👉 復習はその日のうちにしよう
- 👉 次の日の予習をしよう

教育委員会の動き

教育長の再任

平成30年3月31日に任期満了となった安間英潮教育長が、4月1日に再任しました。任期は2021年3月31日までです。

5回の会議を開催

平成30年1月から3月まで定例会を5回開催しました。主な内容をお知らせします。

【議案】

○平成30年度学校運営協議会の設置について

【協議事項】

○学校の働き方改革について
定例会は公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。

今後の定例会開催日程(予定)

日時	会場
4月25日(水) 午前9時30分～	市役所 本庁舎
5月23日(水) 午前9時30分～	

定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

問い合わせ 教育総務課 ☎920・7222 ☎927・8811

総合教育会議の開催状況

総合教育会議は、市長と教育委員会が連携を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進することを目的に開催しています。平成29年度は会議を3回開催。いじめ防止に向けた対策や子育て・教育施策についてなど、市長と教育委員が意見を交換しました。議事録など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

また、30年度は3回開催する予定です。会議は原則公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。

平成30年度総合教育会議開催日程(予定)

開催日時	会場
第1回 5月23日(水) 午後1時30分～	市役所 本庁舎
第2回 10月3日(水) 午後1時30分～	
第3回 平成31年2月 を予定	

問い合わせ 総合経営部経営計画第一課 ☎920・7222 ☎927・7222

災害時の情報発信

いざという時に備えて

災害時には、電話や電子メールがつながりにくくなるおそれがあります。小・中学校では、災害が起こった場合、各学校のホームページの「災害時情報掲示板」とNIT東日本が提供する声の伝言ダイヤル(1771)で子どもたちの安否情報などを発信します。

災害用伝言ダイヤルは毎月1・15日にも利用体験できます。いざという時のために、家庭でも利用方法をご確認ください。

問い合わせ 学校教育政策課 ☎620・7403 ☎627・8811

新入学のご案内を送付

平成31年4月入学に向けて

平成31年4月に市立小・中学校へ入学するお子さんのいる家庭を対象に「新入学のご案内」を4月下旬に送付します。通学区域の指定校情報や学校選択制度、就学時健康診断など、入学にあたり必要となる手続きについて案内しています。保護者の方は、必ず内容をご確認ください。

問い合わせ 教育支援課 ☎920・7222 ☎927・8811

いじめで悩んでいたら・・・

子どものいじめ相談電話へ相談を

いじめに悩むお子さんや保護者が利用できる相談窓口として、子どものいじめ相談電話を開設しています。

専用電話 ☎620・7499
(☎627・5939)

受付日 月曜日～金曜日(祝・休日を除く)
午前8時30分～午後5時

「いじめという行為は決して許さない」

いじめの未然防止、早期発見、早期対応のために、少しでも子どもたちのようすが気になったらご相談を。

「はちおうじっ子ホームページ」で子ども向けに情報を発信しています。



こちらからご利用を

